

令和4年9月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,644	8,871	4,530	4,341	△ 11	△ 8
2 千 石	3,912	6,688	3,419	3,269	△ 20	△ 29
3 内 山	5,642	7,922	4,219	3,703	3	17
4 大 和	3,537	6,684	3,293	3,391	8	10
5 上 野	7,456	15,475	7,585	7,890	7	16
6 高 見	7,301	13,206	6,310	6,896	△ 15	△ 25
7 春 岡	6,947	10,936	5,746	5,190	0	△ 9
8 田 代	11,305	21,854	10,441	11,413	15	28
9 東 山	10,305	19,198	9,381	9,817	6	△ 9
10 見 付	4,542	8,473	4,248	4,225	△ 2	10
11 星 ケ 丘	3,529	6,837	3,040	3,797	△ 1	△ 3
12 自 由 ケ 丘	3,548	7,257	3,290	3,967	0	4
13 富 士 見 台	6,509	15,242	6,941	8,301	3	△ 2
14 宮 根	3,796	8,091	3,742	4,349	△ 13	△ 6
15 千 代 田 橋	3,719	8,291	3,908	4,383	2	△ 2
千 種 区 計	87,692	165,025	80,093	84,932	△ 18	△ 8
R3. 9. 1	86,953	164,961	80,054	84,907	0	△ 18
対 前 年 比	739	64	39	25	△ 18	10
名 古 屋 市	1,142,595	2,326,167	1,142,245	1,183,922	382	△ 273
愛 知 県 (R4. 8. 1)	3,291,908	7,502,579	3,737,511	3,765,068	1,370	△ 1,127

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	130	147	△ 17	970	961	9

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598(昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727(平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。

千種区の地価の推移

今回は、令和 3 年版名古屋市統計年鑑を基に、名古屋市および千種区の平成 24 年から令和 3 年の住宅地と商業地の地価についてみてみます。

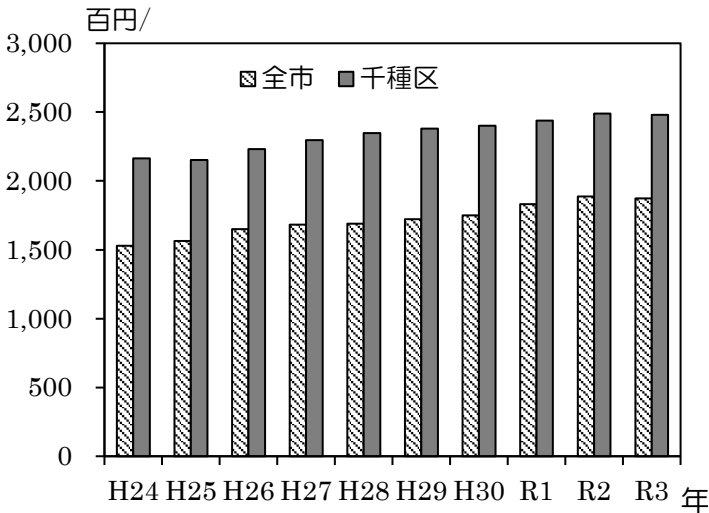


図 1：住宅地地価平均価格の推移
(平成 24 年～令和 3 年 1 月 1 日現在)

まず、千種区の住宅地の地価の平均価格をみると、平成 24 年から令和 2 年まで右肩上がりになっていますが、令和 3 年については前年比 0.8% マイナスになっています。

令和 3 年の千種区の平均価格は 2,480 百円/㎡で、全市平均より上回っており、16 区中 4 位の数値となっています。

住宅地		地価平均価格順位		百円/㎡	
1	中区	8,496	6	熱田区	2,056
2	東区	4,182	7	名東区	2,026
3	昭和区	2,838	8	中村区	1,787
4	千種区	2,480	9	西区	1,758
5	瑞穂区	2,405	10	天白区	1,684

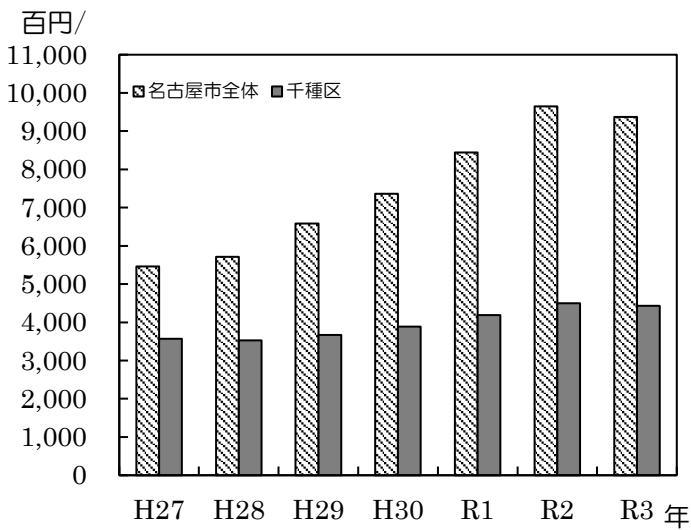


図 1：商業地地価平均価格の推移
(平成 27 年～令和 3 年 1 月 1 日現在)

次に、商業地の地価の平均価格をみると、平成 27 年から令和 2 年まで増加傾向でしたが、令和 3 年の千種区の平均価格は 4,432 百円/㎡で前年比で 2.1% マイナスとなっています。

中村区(26,259 百円/㎡)や中区(17,272 百円/㎡)が平均を押し上げているため、千種区の地価(4,432 百円/㎡)は名古屋市全体(9,371 百円/㎡)よりも低くなっていますが、千種区の地価は全 16 区中 5 位という順位になっています。